

婦人科からの耳より情報

第四話「オンライン診療は障がい者診療とマッチする」

ちょっと相談したい、ちょっと薬が欲しいけれど、障がいをお持ちの方を連れて受診するのがたいへんと思ったことはありませんか？本当は病院に行きたいけれど、受診の準備や、待合室で待たされることを考えると、受診を思いとどまったりしていませんか？

コロナウイルス下で、オンライン診療への制限が大幅に緩和され、初めて診察を受ける時でも、オンラインで可能となりました。オンラインと聞くと、横文字の言葉で難しいと感じますが、電話での診察も可能です。もちろん、スマホ、タブレット、パソコンのカメラ機能を使って診察を受けることもできます。

直接、体を触ったり、採血などの検査をしないのに、診察ができるの？と不安に思われるかもしれません。もちろん、発熱、痛み、ケガなどは直接会って診察を受けたほうが良いでしょうが、お話を聞くだけで、検査などが不要な場合がしばしばあります。例えば、花粉症、眠れない、緊張や興奮しているなどの場合は話のみで薬を出されることが多いと思います。

婦人科では、生理の前になると体調が悪くなる月経前症候群や、若い方の生理痛、更年期症候群などは、お話をお聞きし、薬を出しています。障害をお持ちの方は、自分でしんどいと訴えにくいので、生理前、生理中、または更年期に普段とは少し違うと感じた場合は、積極的に治療を行ったほうが良いでしょう。病状に応じて、低用量ピル、ホルモン補充のパッチ製剤、漢方などが処方され、苦しそうな感じがなくなったと喜ばれています。

薬の受け取り方法も簡単です。佐川急便を使って自宅に着払いで受け取ったり、かかりつけの薬局に薬を取りに行くこともできます。

診察の支払い方法も、着払いでの支払い、銀行振込、後日病院に支払いに行く方法など、様々な選択肢があります。

オンライン診療は、菅政権の政策の目玉として、コロナ時の一時的な措置ではなく、通常の診療として認可されそうです。オンライン診療を通じて、障害をお持ちの方が、気軽に診療を受けられることを願っています。

はしもとクリニック 院長
前 ベルデさかい 診療部長 橋本 洋之 医師



ベルデ薬局 知っておきたいお薬のお話

その参 「コロナ治療薬について」

今のところコロナについては未知な部分も多く、根本的にウイルスをやっつけるようなお薬はまだ出ていません。しかし5月には特例的に治療薬としてレムデシビル(商品名:ベクルリー)というお薬が日本で承認されました。現時点では使用に制限があり、酸素飽和度が低くECMOや人工呼吸器で治療されている方が対象です。また7月には既存のステロイド薬であるデキサメタゾンについてコロナ治療薬として使用できるようになりましたが、こちらも呼吸管理が必要な比較的重症の方が対象となるようです。

また当初話題になったアビガンについては賛否両論あり、3月～5月に軽症～無症状患者89人を対象とした調査では明らかな治療効果が確認できませんでした。ただし、第二波で対象患者が増えたためメーカーの臨床試験が9月中にも完了するのではないかとされています。

その他既存薬でもいくつか候補があったり、新規の薬の開発もいくつか進められています。まだインフルエンザのように町の診療所でお薬がもらえる状況にないので、早く開発が進んで広く使われ、少しでも重症化する方が減ることを期待しています。

ベルデさかい 薬剤師 河村 久美子



暮らしに役立つ福祉用語のお話

No.4 「補装具と日常生活用具」

第4回目の福祉用語のお話は、「補装具」と「日常生活用具」についてです。

補装具も日常生活用具も、障害のある方が毎日の生活を自分らしく、より快適に(効率よく、負担なく)過ごすことや地域生活を充実したものになるように作られた制度です。

補装具は、障害者総合支援法の自立支援給付で、障害により不自由となった身体の機能を補完するという考え方から、個々人の身体状況に応じて制作・調整が行われます。そのために、医学的判定(支給判定・適合判定)が必要になります。

日常生活用具も障害を補うものですが、日常生活がより円滑に行われるように、障害の種別や程度に応じて給付されるもので、地域生活支援事業になります。第1回目でお話したように各市町村で内容は変わってきます。

補装具と違い、医学的な判定は必要ありませんが、「障害のある方が安全かつ容易に使用できるもので実用性があるもの」とされていますので、購入する前にはうまく使用できるか試しておくことが大切です。

どちらの制度も、障害の種類・程度によって給付できる用具が異なります。

また、介護保険対象者の方で、介護保険給付の対象となる方は、原則として介護保険サービスが優先とされますが、介護保険にない用具については給付されることがあります。

大きく違うのは、補装具は施設入所等の利用者でも給付されますが、日常生活用具については支給制限があります。

大切な事は、購入等をする前に、必ず事前に各区地域福祉課などへ相談して下さい。

ベルデさかい 事務局長 森 繁樹



■地域支援センター 事業実績と予告■

堺ミーティング

	日時	テーマ
第1回	平成27年 7月20日	施設紹介:「ベルデさかいの役割とこれから」 児玉センター長、ベルデ各部署
第2回	9月11日	講義(岸本PT):いのちの入れ物「からだ」への支援
第3回	11月27日	講義(松本OT):豊かな暮らしの活動支援
第4回	平成28年 1月8日	講義(松浦ST):楽しい食事時間の支援
第5回	3月11日	講義(石崎Ns):いのちを紡ぐ医療的ケアの支援
第6回	5月13日	施設・事業紹介 大阪南リハビリ訪問看護ステーション、障友会グループホーム「あいあい」
第7回	7月8日	施設・事業紹介 アシストデイ・アシストナイト(ナイトケア)、えーゆーハウス
第8回	9月9日	施設・事業紹介 ピュアあすなろ、大阪府立堺支援学校
第9回	11月11日	施設・事業紹介 堺市基幹相談支援センター、堺市障害者更生相談所
第10回	平成29年 1月13日	講演 橋本 洋之 医師 (堺市立重症心身障害者(児)支援センターベルデさかい 診療部長) 「障害女性のライフステージと健康」
第11回	3月10日	施設・事業紹介 じょぶライフだいせん、平成29年度の堺ミーティング計画報告
第12回	5月12日	講演:位田 忍 医師 (大阪母子医療センター副院長・患者支援センター長) 「在宅医療の地域ケアシステム構築での3次病院及び専門医療の役割」
第13回	9月27日	講演:南條 浩輝 医師 (かがやきクリニック院長) 「ちょっとだけがんばればできる小児在宅医療」
第14回	11月17日	講演:長井 美樹 医師 (堺市総合医療センター耳鼻咽喉科・頭頸部外科部長) 「重症心身障害児者や長期臥床患者に適した新たな誤嚥防止術のご紹介」 紹介:堺市総合医療センター (医療連携室 柳川 富久美 看護師長)「医療・福祉・介護連携」
第15回	平成30年 1月12日	講演:藤井 健一 医師 (耳原総合病院小児科) 「重症心身障害児者とその家族に教えられた事 これまでの経験とこれからの展望」
第16回	平成30年 3月9日	講演:伊藤 隆夫 PT (全国訪問リハビリテーション協会相談役・前会長) 「地域包括ケアと在宅リハビリテーションーこれからの地域に求められるリハ職の役割を考えるー」
第17回	9月14日	テーマ:「自立支援について考える-重心自立生活者当事者報告会-」 ※知的に高い重度障害者の自立生活実現への当事者報告会 当事者2名参加
第18回	平成31年 3月1日	テーマ:「自立支援について考える②」 堺区障害者基幹相談支援センター 菊池様からの事例紹介とディスカッション
第19回	2019年6月20日	講演:竹本 潔 医師 (大阪発達総合療育センター 副院長 小児科) 「大規模災害時の医療的ケアが必要な方々への対応と対策」
第20回	2019年10月24日	講演:森 繁樹 氏 (ベルデさかい 事務次長) 「個別支援計画と福祉制度入門」
第21回	2020年8月28日	情報交換会: 新型コロナウイルスによる様々な影響とこれからの対策について ①新型コロナウイルス感染症対策 ②事業所、施設の運営や管理 ③利用者、保護者の心身の健康や生活
第22回	2020年11月4日 (お知らせ中)	講演:橋本 洋之 医師(はしもとクリニック 院長、前 ベルデさかい 診療部長) 「障害者の答えのない選択 あなたならどうする？」
第23回	2021年2月ごろ	(仮題)専門用語を使わない、障がいのある子の親なきあとの「お金」の話

「障害者週間」フェスティバル

(今年は電動車椅子レースは中止し、視線入力装置やスイッチなどを使って遊ぶ企画に変更しました)

第1回	平成28年12月3日	第2回	平成30年3月11日	第3回	平成30年12月1日
第4回	2019年11月30日	第5回	2020年11月28日(予定)		

介護講習会(ゆびきたす倶楽部)

第1回	平成28年6月19日	第2回	平成29年8月20日	第3回	平成30年6月10日
第4回	検討中				

器具作成講習会(ベルデ製作所)

今までに作成した器具の作り方などは、ベルデさかいのホームページに掲載していますので、ご覧ください



第1回	平成28年10月16日	第2回	平成30年1月28日	第3回	平成31年3月16日
第4回	検討中				

症例検討会(くおりあ倶楽部)

新型コロナウイルス感染症の影響で延期しています。再開が決まり次第、ホームページやメールなどでご案内します。

健康体操教室

新型コロナウイルス感染症の影響で延期しています。再開が決まり次第、ご案内します。

その他の講習会

平成29年 10月22日	大阪府重症心身障がい児者地域ケアシステム整備事業 障がい福祉サービス等体験会・在宅重症心身障がい児者支援者育成研修
--------------	--

今年度から地域支援センター担当者が変更になりました。

9月1日付で地域支援センター担当看護師になりました朝倉です。看護師として20数年、地域支援とは直接関わることが少ない、急性期病院や身体障害者センターの病棟勤務、ベルデさかいでも入所担当の部署で働いてきました。

初めて関わる分野でありどんなことが学べるか楽しみです。今まで交流のなかった方々との出会いや相談にうまく対応できるか不安がいっぱいですが、少しでもお役に立てるようにしていきたいと考えています。

至らぬことも多数あるかと思いますが、よろしくお願ひします。



あさくら

この6月に広島から異動してきました相談員の今ヶ迫(いまがさこ)です。今までは高齢者施設、保育園で務めてきました。重心施設は初めてであり不安もありましたが、ご利用者の笑顔を見ると、「この笑顔を守っていかなければ」と日々、業務に努めています。

ベルデさかいでは通所と地域支援を担当しております。これからも障害者の方、そのご家族が自分らしい生活、当たり前のような生活ができるように、お手伝いをさせていただきたいと思ひます。

今後ともよろしくお願ひします。

いまがさこ



ベルデさかいの
ホームページは
こちら

ベルデ地域支援センターの派遣事業について

- 地域の生活介護事業所での医療や介護、お薬、リハビリなどに関するご相談や指導
- 職員研修などの講義や実技指導
- 職員の腰痛予防などの体操指導
- 婦人科に関すること
- その他

電話・FAX、ホームページ、メールなどで、どうぞお気軽にご連絡・ご相談ください。
ご依頼・ご相談をいただきましたら、日程のご相談をしてなるべく早期に対応します。



お問い合わせ・ご連絡先

堺市立重症心身障害者(児)支援センター内
ベルデ地域支援センター

〒590-0808 堺市堺区旭ヶ丘中町4-3-1

堺市立健康福祉プラザ2階

電話 072-275-8510 FAX 072-243-5900

担当者 今ヶ迫 昇平(いまがさこ しょうへい)
小澤 明人(おざわ あきと)

メール: verdesakai.chiikishien@misasakai.or.jp

